談話室

「災後」10年、そして「コロナ後」10年のJA組合員の営農とくらしを考える

2012年（平成24年）の第26回JA全国大会決議を振り返る

時計を10年巻き戻してみます。2011年（平成23年）３月に東日本大震災・福島原発事故が発生、それ以前2008年（平成20年）からのリーマン・ショック、金融危機以降のデフレ・景気低迷で農業産出額、生産農業所得は大きく低下、さらに政権のTPP交渉参加検討表明があり、現場には農業、地域、くらしへの不安が充満していました。こうした背景から、2012年（平成24年）10月の第26回JA全国大会決議では、組合員・住民の意向調査、話し合いなどに基づく地域営農ビジョン、支店を核とする協同活動による「地域くらし戦略」の策定、10年後の2022年（令和４年）のめざす姿を「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」としました。

その後２回のJA大会では、農協改革を踏まえ農業者の所得増大・農業生産の拡大などの創造的自己改革の実践を決定、全国のJA、JAグループは全力で、本年までこれに取り組んできました。

2021年（令和３年）、コロナ下の国内外の現在を思う

こうした中、昨年から私たちは未曽有の新型コロナウイルス感染拡大を経験しています。農業産出額、生産農業所得も減少しました。JA経営も、2020年度上半期の事業総利益（JA全中速報値）は、前年同期比3.2％減と大半の事業で減少しています。一方、国内外ではこれまでのグローバリズム、市場原理主義一辺倒から、世界的には国連のSDGsの取り組みの広がりやESG投資の拡大がみられ、さらにフランスの経済学者ジャック・アタリ氏は、「命の経済」と呼ぶ医療、農業、クリーンエネルギーなどの重視を訴えています。我が国でも、田園回帰、半農半Xなどの新たな潮流、さらに昨年の食料・農業・農村基本計画では、従来の政策に加え家族農業経営、中山間地農業の維持・発展など地域政策を含む今後10年の政策による農村振興の実現が明確に謳われました。ようやく時代が、2012年（平成24年）JA大会決議の「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」の姿に追いついてきたようにも思えます。

今後10年のさらなる環境の変化と必要なJA・JAグループのアプローチ

しかし、これから10年、我が国は急激な高齢化と人口減少、インフラの老朽

農林中金総合研究所
https://www.nochuri.co.jp/

化・遊休化の時代を迎えます。特に農業経営体数（2020年農林業センサス108万戸）の半減が推測されるなど、2030年（令和12年）は過去経験したことの無い状況に直面します。故宇沢弘文東大名誉教授は、「社会的安定性を保つために必要な農村人口の割合は、・・日本の場合、20%から25%程度が、望ましい・・」（『ゆたかな国をつくる』岩波書店）と述べており、その水準から低下すると、食料安全保障のみならず地域社会の安定にも大きな危機が訪れ、組合員の営農とくらし、さらに国民のくらしの安定と質の向上の必要性が一層高まります。こうした危機、課題に対し、今、JA、JAグループが取り組むべき、必要な３つのアプローチをご提案します。

第一には、現場のありのままのデータ、予測に基づく自給的農家から法人まで地域のあらゆる組合員の営農とくらし、さらに住民のくらしの質の向上を実現する10年後を見通したJA支店単位のビジョンと戦略の再策定です。その目的は、農業に関わる人口の維持・拡大、さらに水田など土地利用型および畜産、園芸などの担い手の農業生産および地域経済の拡大、双方の実現です。

第二に、過去の大転換期の1982年（昭和57年）第16回全国農協大会では、我が国の農業、地域、農産物消費の客観的な分析をもとに「日本農業の展望と系統農協の農業振興方策」を決議、マクロな視点から現場での地域農業の再構築を進めました。現在も大転換期にあり、同様のマクロな視点で、これまで各地で分化・発展してきた米など土地利用型、畜産、園芸など施設投資型、その他中小家族経営、中山間地農業の我が国全体の10年後のビジョンと戦略の策定が必要です。

第三に、以上のビジョン、戦略の実現のため、進化するICT、IoT、AI、ネットワークなどによるデジタルトランスフォーメーション（DX）が不可欠です。ただDXは、手段を優先し、本来の目的を見失えば、格差の拡大、膨大なコストのみを生むリスクを抱えています。こうした事態を避けるため、JAグループは自ら現場のデータを分析、予測し、その上でデジタル化を進める技術、インフラの整備と専門の体制が必要です。このことが、組合員、地域を起点とした従来の枠を越えた新たな効率的な事業を作り出すように思います。

本年は第29回JA全国大会の年、10年後の新たな価値、ビジョン、戦略が示されることを期待します。

（全国農業協同組合連合会 テクニカルアドバイザー〔業務委託〕
大西茂志・おおにし しげし）

農林中金総合研究所
https://www.nochuri.co.jp/